

CLUSTERPRO X 4.0 新機能

2018年10月
日本電気株式会社
クラウドプラットフォーム事業部
(CLUSTERPRO)

Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

高い成長率を継続するクラウド市場に向けた機能を強化！

主な機能強化点

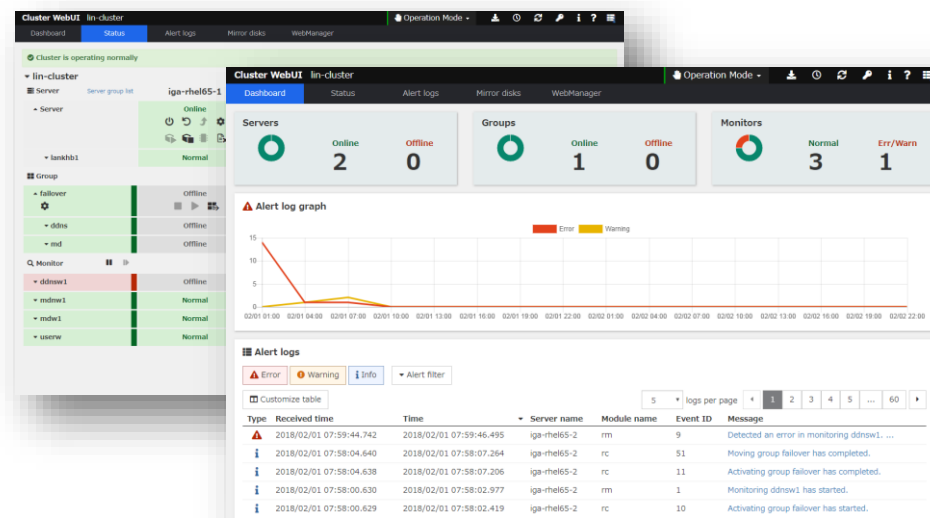
1. クラウド連携強化

- VPC(*2)越しの通信が必要なシステムでもHAクラスタ化を可能とする
「**AWS DNSリソース**」を追加
- ユーザーフレンドリーな管理GUI「**Cluster WebUI**」を追加
- 短期利用を望まれるクラウドユーザー向けに1カ月単位の
「**期限付きライセンス**」の提供開始

2. 対応OS、対応SWの拡大

- **Windows Server, version 1709**に対応
- **SQL Server on Linux**に対応
- その他諸元拡大

CLUSTERPRO



(*1) 出典：IDC's Worldwide Semiannual Software Tracker (2016 H2)

(*2) Amazon Virtual Private Cloud

AWS DNSリソースを追加

VPC(*1)越しの通信が必要となるシステムのHAクラスター化を実現する
「AWS DNSリソース」を追加

クラウド上での構築をより簡単に

GUIに値を入れるだけ！

[awsdns1] リソースのプロパティ

情報 依存関係 復旧動作 詳細

共通 server1 server2

ホストゾーンID(付) HOSTZONEID

リソースレコードセット名(付) awsdns.test.local.

IPアドレス(付) 10.0.0.101

TTL(付) 300

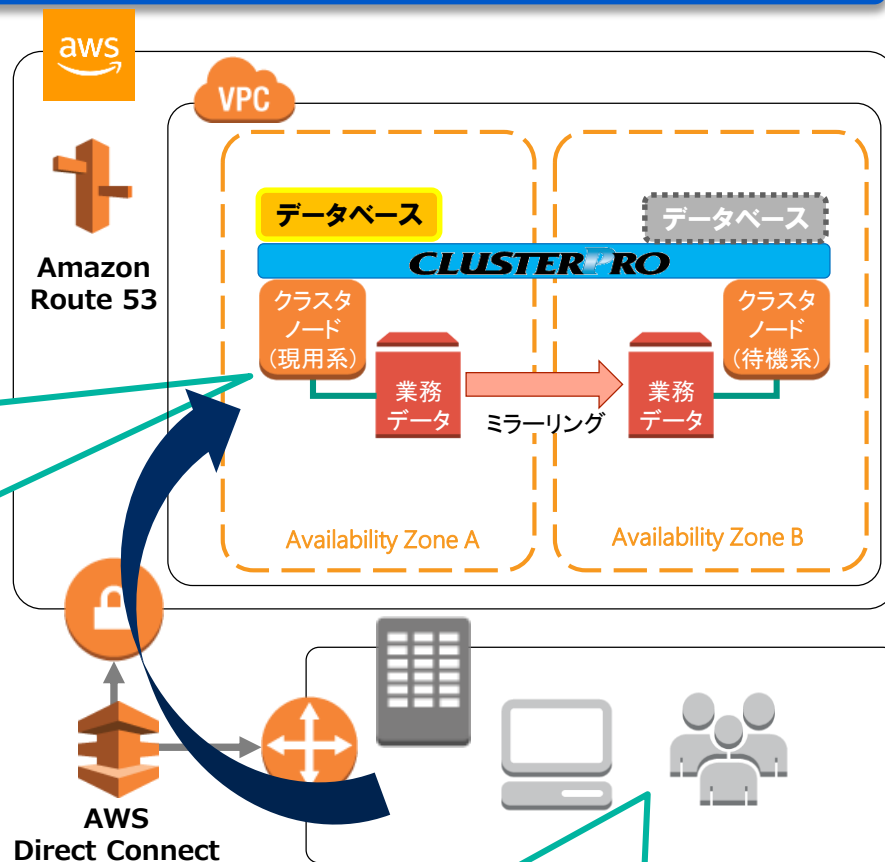
☒ 非活性時にリソースレコードセットを削除する(付)

PPガイドも同時更新！

- Amazon Web Services 向け 構築ガイド
- Microsoft Azure 向け 構築ガイド

CLUSTERPRO X ソフトウェア構築ガイド (クラウド)
<https://jpn.nec.com/clusterpro/clpx/guide.html>

(*1) VPC : Amazon Virtual Private Cloud



Cluster WebUIを追加

エラー発生状況や現在のクラスタの状態など視認性良く確認が可能

ダッシュボード



ステータス



※ https対応

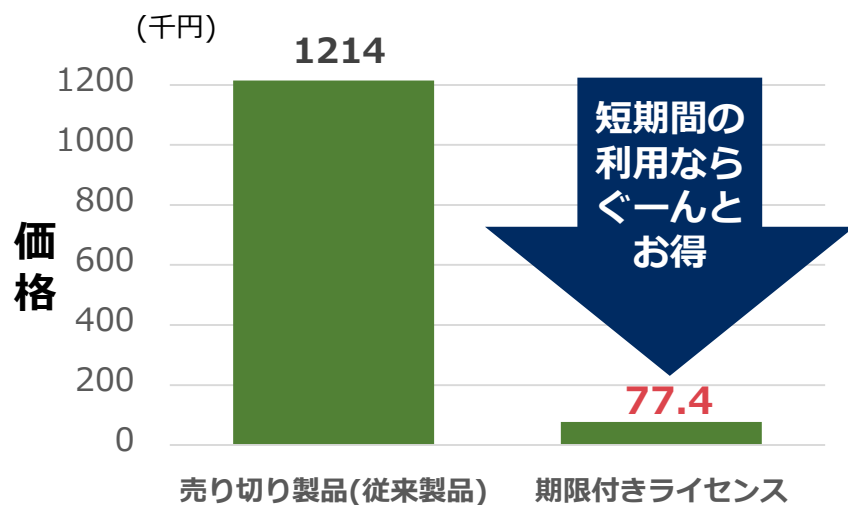
※ 従来のJavaベースのWebManagerもご利用いただけます

期限付きライセンスの提供開始

イニシャルコストを抑えたいクラウドユーザーに最適

■ 短期間だけ利用される場合や評価中にPPサポートを受けたい時にも最適

- 1ヶ月単位で利用が可能
- 提供形態はインターネット配信形式のみ
- PPサポート(標準保守/時間延長保守)をバンドル



● 見積もり構成例

(1ヶ月間標準サポート付き間2ノードミラー構成の想定
2ヶ月目以降はCDの購入不要)

型番	製品名	数量	標準価格	小計
UL1276-A01-I	CLUSTERPRO X 4.0 CD	1	10,000円	10,000円
UL4276-HA82-I	CLUSTERPRO X 4.0 for Linux VM 期限付きライセンス(1ヶ月, 1ノード, 保守つき)	2	20,000円/月	40,000円/月
UL4276-HA83-I	CLUSTERPRO X Replicator 4.0 for Linux 期限付きライセンス(1ヶ月, 1ノード, 保守つき)	2	13,700円/月	27,400円/月

合計77,400円/月
(2ヶ月目67,400円)

提供形態の拡充やサービス内容の拡張

より早期にサポートを提供できるインターネット配信版のPPSupportPackを拡充。PPサポートのライセンスサービスにバージョンダウン権を追加

インターネット配信製品(i配信)のPPSupportPackを拡充

- 製品出荷リードタイムを短縮できます
- 複数年PPSupportPackもご用意しています

PPサポートのサービス仕様にバージョンダウン権を追加

- **バージョンダウンするためにはPPサポート契約が必須です。**バージョンダウンの手続きはPPサポートポータルサイトの [バージョンアップのお申込み]より申し込みいただけます。
- 2018年5月現在、CLUSTERPRO X 2.0までバージョンダウンが可能です。
- **バージョンダウン権の付与に伴い、旧バージョンのライセンスを順次受注停止します。**
 - CLUSTERPRO X 3.2以前のライセンスは**2018/10/31に受注停止**します。
https://jpn.nec.com/clusterpro/clp/old_products.html
 - CLUSTERPRO X 3.3のライセンスは**2019/03に受注停止予定**です。
<https://jpn.nec.com/clusterpro/clp/product.html>

Windows / Linux / Solarisの最新のOSに対応

	Windows	Linux	Solaris
対象機種	x86_64サーバ	x86_64サーバ、POWERサーバ	x86_64サーバ
対応OS	Windows Server, version 1709 Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012	Red Hat Enterprise Linux 7.3～7.4 Red Hat Enterprise Linux 6.8～6.9 Asianux Server 7 (SP1～SP2) Asianux Server 4 (SP6～SP7) Novell SUSE LINUX Enterprise Server 12 (SP1) Novell SUSE LINUX Enterprise Server 11 (SP3～SP4) Ubuntu 16.04.3 LTS Ubuntu 14.04 LTS Oracle Linux 7.3 / 6.6	Solaris11.3 Solaris11.2

詳細は製品サイト参照

<https://jpn.nec.com/clusterpro/clpx/index.html> → 動作環境

その他の機能強化

- ミラーディスクリソース・ハイブリッドディスクリソースの最大登録数が8個からWindows版は22個、Linux版は32個に拡張されました。

注意事項

■ 複数CPUライセンス、2ノードライセンスを廃止しました。
1CPUライセンス、1ノードライセンスを複数ご購入ください。

● これに伴い保守料金が若干値上がりするケースがありますのでご注意ください。

■ 32bit版OS用のモジュール提供を廃止しました。
32bit版OS上でご利用したい方はバージョンダウン権を利用し、X3.3以前のバージョンをご利用ください。

■ サポートが切れているOSやソフトウェアへの対応を廃止しています(*)。

■ X 3.3/3.2/3.1/3.0からX 4.0へのアップデート手順にはシステム停止を伴います(*)。

■ 一部の既定値を変更しています。既定値を利用されている場合、
X 3.3/3.2/3.1/3.0からアップデートすると設定値が変わるケースがあります(*)。

(*) 詳細は製品マニュアル(スタートアップガイド)をご確認ください。

https://jpn.nec.com/clusterpro/clpx/manual_x40.html

CLUSTERPRO

日本電気株式会社
クラウドプラットフォーム事業部
(CLUSTERPRO)

製品ウェブ <https://jpn.nec.com/clusterpro/>
メールアドレス info@clusterpro.jp.nec.com
窓口営業時間 平日 9:00～17:00

プリセールスでの構成の見積もりに関するご質問、
導入支援サービスに関するご相談など、
お気軽にお問い合わせください。

※本紙に掲載された社名、商品名は各社の商標または登録商標です。
※本製品（ソフトウェア含む）が、外国為替および外国貿易法の規定により、輸出規制に該当する場合は、
日本国外に持ち出す際に日本国政府の輸出許可申請等必要な手続きをお取りください。

 **Orchestrating** a brighter world

NEC